

# 会員さん、こんにちは！

塚本会頭は、多くの会員の皆様との対話を通じ、魅力的な商工会議所づくりを目指しています。現場の声を会議所運営に、会頭の会員訪問レポートをお届けします。

## 健康サービスの提供で 地域社会を守る！

健康診断・出張健診などを行う医療法人大和英寿会(大和健診センター)さんの運営協力により実施している本所のワクチン職域接種会場を視察し、会長の笠松映允子さんと常務理事の加藤拓実さんから経営理念や1日も早い社会経済活動の正常化を支えるための医療機関としてのさまざまな取り組みについてお話を伺いました。

(訪問日：4月11日)

### ▶ 医療法人大和英寿会 大和健診センター

会長 笠松 映允子 さん

1959年(昭和34年)に、会長の父で外科医の笠松高光さんが大和診療所を開設したのが大和グループの始まりで、現在は医療法人大和英寿会 大和健診センターと一般財団法人大和松寿会 中央診療所(ともに中京区)、重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービスほほえみ(宇治市)の3事業を展開している。

大和健診センターでは健康長寿を願い、疾病に対する「予防」と「早期発見」を通じた積極的な健康サービスを提供、中央診療所では京都市を中心として、各種事業所・学校等へ出張健診を行うとともに、難病治療を中心とした医療を提供している。

#### 必要とする全ての人へ医療を提供

大和グループでは、「全ての人へ分け隔てなく医療を提供する」という創始者の信条を受け継ぎ、コロナ禍においてもいち早く発熱外来を設置した。また、ワクチンの職域接種にも積極的に協力しており、医療機関として社会経済活動の正常化に貢献している。新型コロナウイルスの影響は、医療機関では受診離れとして現れており、感染リスクに対する懸念から健診や人間ドックの受診を控える人が増加傾向にある。がんなど病気の重症化の予防に健康診断の果たす役割は大きく、今後、未受診による潜在的な健康リスクの拡大が懸念される。「病気の早期発見から治療へとつなげる予防医学の重要性を広く周知していきたい。」と笠松会長。これからも地域の人が安心して過ごすことができる環境づくりに努め、医療機関として地元に一層貢献していく。



自覚症状がなくとも病気は進行してしまうため、毎年定期的な健診を勧めています。(加藤常務理事)

応援!



塚本会頭

本所の新型コロナワクチン職域接種では、医師・看護師の確保が難しい中、昨年夏の1回目より継続して全面的にご協力いただき感謝しています。経営者・従業員の健康は、経営リスク軽減に欠かせません。今後も予防医学の分野において貢献されることを期待しています。